

W. N. J. ニュースレター No.29

発行 ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン Workers' Collective Network Japan 2008 2 25
東京都世田谷区赤堤 4-1-6 赤堤館 代表藤木千草 Tel 03-3325-3720 Fax 03-3325-7955
ホームページ:http://www.wnj.gr.jp Email info@wnj.gr.jp

「協同労働の協同組合」の法制化運動

ワーカーズ・コレクティブ法の実現をめざして

2008年2月20日

「協同出資・協同経営で働く協同組合法を考える議員連盟」発足

2月20日、衆議院第1議員会館の第1会議室において、「協同出資・協同経営で働く協同組合法を考える議員連盟」の発会式が開催されました。参加議員は各党の衆参両議員70名で秘書を含め約80名の参加があり、その他マスコミ関係(NHK・TBS・共同通信・朝日新聞など)が約30名、労協、WNJの参加が20名で参加総数は130名ほどでした。会長の坂口力議員(公明)から「今国会中に目処をつけたい」との挨拶がありました。



設立趣意書

多様な働き方の制度整備により、誰でも人たるに値する生活を可能にしなければならない。日本においては、使用者と労働者の関係は労働基準法をはじめとする労働法令によって定められている。しかし、協同出資、協同経営によって共に働くことに対する法律は存在しない。

私たちはここに議員連盟を設立し、日本においても新しい働き方が可能になるよう、法制化を含めて検討するため発足するものである。

発会式は設立趣意書の採択と規約が承認され、役員人事には会長に坂口力議員(公明)、会長代行は仙谷由人議員(民主)、副会長には各党より1~2名、幹事長は長勢甚遠議員(自民)、顧問に藤井裕久議員(民主)の就任が承認されました。

その後、放送大学の宮本みち子教授が若年層のワーキングプアの問題を示し、協同で働く事業体がその対策にもなる旨話されました。

質疑応答では、小宮山洋子議員(民主)が「若年層のことだけでなく、これまで地域で担ってきたワーカーズ・コレクティブも対象ですね」と確認していただき、協同労働法制化市民会議の笹森会長が「もちろんです」と答えました。仙谷議員は高齢者の「葉っぱ」事業(料亭等に卸す木の葉などを集める仕事を農協と行っている)の例をとり高齢者の居場所づくりも必要と話され、田中康夫議員(新党日本)はILOが提唱するディー

セントワークに触れて、供給者であり消費者でもあるこの働き方の価値について発言されました。

ワーカーズ・コレクティブが誕生して26年、法制化の活動を始めて19年。各地域で実態を増やし実践しながら、法制化について学習・討議し、WNJとして法案要綱の1次・2次・3次案をつくり、ロビー活動を行い、という活動の積み重ねがあったからこそ、今回の大きな動きを労協と共に作り出せたと思います。法案が成立すれば、日本に60年ぶりに新しい協同組合の法律が誕生します。「新しい働き方」「もうひとつの働き方」と言ってきたワーカーズ・コレクティブが、社会的にきちんと位置づくことになるわけです。法案の作成と審議はこれから始まるので、まだまだ紆余曲折が予想されますが、しっかりと私たちの意見を主張しながら、より良い法律の成立をめざしましょう。

(WNJ代表 藤木千草)

国際協同組合運動のリーダー

イアン・マクファーソン博士を囲んで

とき＊ 3月29日(土)
13時30分から18時
ばしょ＊ 生活クラブ生協埼玉本部
さんかひ＊ 1,000円(懇親会のみ)

事例報告

市の委託事業によるワーカーズ・コレクティブ起業講座(北海道)
生協の福祉事業を協働(熊本)
NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会の障がい者就労支援(神奈川)
障がい者とともに働く「つどい」(埼玉)
「お先に自由に働いています」発行(近畿)

マクファーソン氏の講話 (ブリティッシュ・コロンビア協同組合研究所所長)

「協同組合地域社会づくり」

働く人の協同組合について具体的な事例など紹介いただく

懇親会 (ワーカーズ・コレクティブ旬 の料理)



主催 ワーカーズ・コレクティブ・ネットワークジャパン
共催 市民セクター政策機構 第3次ワーカーズ・コレクティブ法研究会
申込先 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 Tel:03-3207-1941 Fax:03-3207-1945